

## 江西省 ～南昌小藍經濟開發区～

岡山県上海事務所 池田 稔

(日中經濟貿易センター上海事務所 所長)

岡山県と江西省とは、昭和 61 年から交流を始め、平成 4 年 6 月に友好提携を締結し、来年度は友好提携締結 20 周年を迎えます。

先日、上海で開催された江西省の省都・南昌市の小藍經濟開發区の説明会に参加しましたので、概要等について御紹介いたします。

なお、江鈴自動車が生産するなど自動車産業の一定の集積があることから、当開發区では自動車部品産業を中心に企業誘致を進めているとのことでした。

### 開發区の概要

2002 年 3 月、南昌市南昌県において設立（2006 年 3 月に省レベルの開發区に昇格。なお、南昌市は上海市から南西方向に飛行機で 1 時間半前後の距離にあり、南昌県は市南部に位置する）。計画面積 40 km<sup>2</sup>（内開發済み面積 22 km<sup>2</sup>）で、省の自動車部品産業基地、食品産業基地、生物医薬産業基地、生態工業園区とされている。

当開發区の設立により、南昌県は工業化・都市化が進み、県の 2010 年の工業総生産額、主な産業収入はいずれも 300 億元を超えている。

開發区内で登記された企業は 562 社（内操業開始企業 453 社）に上る。フォード、LEAR 内装、WESTONE、TENNECO、上海宝山製鉄、コカ・コーラ、ペプシコーラ、中糧集團など世界 500 強企業や自動車企業・江鈴グループ、医薬企業・匯仁グループ、食品企業・煌上煌グループ、中国の有名ブランド・緑滋肴などが立地

し、「自動車と部品」、「食品と飲料」、「医薬と医療機器」、「電機と電器」、「紡織工業と服装」の五大産業が形成されている。

### <交通インフラ>

空路：昌北国際空港から 30 km。

水路：内陸港の南昌港から 22 km、贛江、長江を経て外海へ。内陸河川積載能力 1,000 t、遠洋航路積載能力 5,000 t。

鉄路：浙江-江西、北京-香港、安徽-江西、向塘(南昌)-莆田(福建)の 4 路線が開發区から 5 kmの向塘鎮で交差し、その貨物輸送能力は江南地方で第 1 位、中国で第 2 位。

道路：上海-雲南瑞麗高速道路、江西-広東高速道路、福州-銀川高速道路の 3 本の高速道路が開發区の近くを、国道 105 号、316 号、320 号が南昌市内を通っている。

### 5 大産業の方向性等

#### 「自動車と部品」

江鈴グループを核としたプロジェクト（商用車、乗用車、新エネ車の各プロジェクト）を推進するとともに、産業チェーンの形成により、省内自動車産業の発展を牽引する。

具体的には、今後 3～5 年以内を目途に、開發区内の小藍自動車城に、自動車部品企業を 100 社程度誘致することなどにより、完成車年産 50 万台の生産能力を形成し、自動車産業販売収入 1000 億元、財政収入 50-100 億元の実

現を目指す。

「食品と飲料」

①「省最大のセントラルキッチン」、②「全国的に有名なグリーン食品産業基地」、③「小藍食品の安心供給チェーン」という三大ブランドイメージの確立に努める。

「医薬と医療機器」

匯仁製薬、江西国薬、江西製薬などのトップ企業による革新的製品プロジェクトを基に、研究開発、生産、マーケティングが一体化した産業モデルを形成している。

当開発区は、省医薬医療機器業界で重要な地位を占めており、2011年には省工業及び信息化委員会から「江西省生物医薬産業基地」の称号が授与された。

「電機と電器」

泰豪科技、人民電器などが立地し、電機電器産業は、潜在的な発展可能性を持つハイテク産業と捉えられている。

「紡織工業と服装」

香港華美、スペイン Spumatex 製靴業、香港永通などが立地している。

(2011年12月)